

## まえがき

全国連合小学校長会は、結成以来、よりよい小学校教育の充実・発展のため、組織の総力を挙げて真摯な研究と実践を積み重ね、その成果を上げてきた。今、現学習指導要領の下、学校週五日制が実施されて四年が経過する中、学校教育は大きな改革の時期を迎えている。「学力向上」「教師の質の向上」「学校の組織運営の見直し」等、保護者、地域、社会からの学校に対する要望も多種多様にあり、具体的な学校経営・教育活動を展開し「信頼される学校」を築いていくことが期待されている。まさに、校長が学校の責任者として、リーダーシップを発揮していくことが、従来に増して必要とされているのである。

「確かな学力」をはぐくむための基礎・基本の定着、授業時数の確保、総合的な学習の時間の取組み等、課題は多いが、創意工夫ある学校経営や教育活動を推進することができるときでもある。全国各学校においては、二十一世紀を担う子供たちに「生きる力をはぐくむ」学校経営・教育活動が実践・展開され、着実に実績を上げてきているところである。全国各地での取組み、特に、先進校の創意ある様々な実践は「校長の見識・学校経営能力の更なる向上」を図るための、重要な拠り所の一つとなっている。

本会では、今回、隔年で発行している「全国に情報提供できる先進的な研究・実践、地域環

境を生かし地域に根ざした教育活動等」の一端を紹介する『平成十八・十九年度版全国特色ある研究校便覧』を刊行する運びとなった。掲載された研究校は「生きる力」の育成を目指し、貴重な実践的研究の成果を上げてきている学校である。本書のご活用により全国各学校の会員が校長としての識見等の力を高められ、自信と誇りをもって学校経営・教育活動に当たられることを大いに期待するものである。特に、ホームページの公開校がほとんどであり、活用の便が広がるものと考えている。

本書の作成に当たって、各都道府県小学校長会には多大なるご理解ご協力を得、二百五十二校の推薦をいただいた。感謝の至りである。また、当該小学校長には、校務繁多な中、貴重な時間をさいて研究内容の執筆をしていただいた。お礼申し上げます。さらに、編集に当たった本会の広報部長、シリーズ等編集委員会の方々に感謝の意を表する次第である。

平成十八年四月

全国連合小学校長会長

寺崎 千秋